

毎年一月十五日・十六日に勤めている「御正忌(ごしょうぎ)法要」ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年は中止することといたしました。また他の一月・二月の法要・行事も全て休止いたします。

なお、三月以降の法要・行事につきましても、覚王寺だより・ホームページ・掲示板などでお知らせいたしますので、ご確認ください。

「終活」コラムがスタート!

今月号から、「終活」のコラムが新しく始まります。担当していただくのは一昨年、覚王寺で「おてら終活カフェ」を一緒に開催した一般社団法人・終活マイライフ様です。「おてら終活カフェ」では全五回にわたって、終活のイロハや整理、介護保険、認知症、葬儀、お墓などについてお話いただきましたが、このコラムでも一年間、終活のさまざまなテーマについて連載していただく予定です。終活という言葉を知っていても、具体的な内容を知っている人や実行している人は少ないと思います。ぜひこのコラムをきっかけに、終活に取り組んでいただければと思います。

覚王寺だより

かぶぶし

1
2021
No.558



人生100年時代

終活から集活へ

明けましておめでとうございます。覚王寺門徒の皆様におかれましてはご健勝に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスのパンデミックに明け暮れ、今なお日々の生活スタイルの変化を強いられている状態です。

このような時こそ、一人一人が与えられた命を大切に良く生きるための準備をする必要があると考えます。

一般社団法人終活マイライフは、終活カウンセラーの資格を持つ有志が集い「一人でも多くの道民に終活の必要性を理解し準備を進めるお手伝いをする団体」として二〇一七年に札幌で立ち上げました。一昨年に覚王寺様で「おてら終活カフェ」を開催させて頂いたご縁で覚王寺報に継続して終活に関するコラムを担当させて頂くことになりました。

最近の世論調査によりますと国民の約80%以上が終活という言葉を知っていると答えておりますが、具体的な内容を知っている人は30%を切り、終活を実行している人は5%を下回っ

ています。特に終活の要ともいわれているエンディングノートを書いている人は1%程度となっております。

一般的にエンディングノートは自らの終焉後に対応する準備記録と考えられていましたが、私たち終活マイライフは、これから生きる日々を如何により良く自分らしく過ごすための大切なノート(資料)と考え「みらいノート」と命名し、コロナ問題で変化を余儀なくされている今日こそ書き始めてほしいと願っています。

また、人生100年時代の終活は「人が集い、人と語り合い、人が支えあう」ともに助け合う集活が大切と考えています。このような視点に立って次号からは具体的な個別の課題について提言し皆さんと学んでいきたいと思ひます。

(一社)終活マイライフ

理事 桜庭 康喜

一般社団法人
終活マイライフ

終活マイライフは少しでも不安や心配をなくし安心して毎日を過ごすための終活の啓発活動を行なっています。人生100年時代は「終活=集活(人と集い語りあふ縁を紡ぐ)」です。

明けまして

おめでとうございます

謹んで新春をお祝い申し上げます。旧年中は大変お世話になり、誠にありがとうございました。

昨年、私たちの生活は新型コロナウイルスによって一変しました。旅行など外出をしたり、他の人と飲食をしながら会話をしたり、普通にできていたことが今ではできなくなってしまう。お寺も住職継職奉告法要をはじめとして予定していた多くの法要・行事を中止せざるを得なくなり、ご門徒の皆さまにお会いできない日々が続きました。皆さまもまた、ご家族やご親族、ご友人など大切な方々と会いたくても会えない状況に不安を抱えながら毎日を送られていたのではないかと思います。

そして、このような状況は今年もまだしばらく続きそうです。お寺としては今後皆さまの安心と安全の確保を最優先に考えて、法要・行事の開催の可否を判断していきたいと思ひます。皆さまもご無理のない範囲でご参拝・ご参加いただければ幸いです。

本年も皆さまがご健勝でありますよう心からお念じ申し上げます。

令和三年元旦
覚王寺住職 内平 淳一

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1月・2月の法要行事は全て中止することといたしました。3月以降の法要行事につきましては、覚王寺だより・ホームページなどであらためてお知らせいたします。

特集
法 事

大切な亡き方をご縁に
お勤めする法事。
どのように勤めたら
よいのでしょうか？

法事は何のため？

一周忌や三回忌など、先立たれた懐かしい方をご縁として、ご家族やご親戚、近隣の方々やご友人が集まってお勤めする法事。

先立たれた方を偲ぶ中で、私たちも終わりある人生を生きていることを知らされます。それと同時に、み教えを聞かせていただく中で、仏さまとなられた方々も阿弥陀さまと同じようにして、私たちを救い取ろうとはたらいていらつしやることに気づかされます。

阿弥陀さまの限りないお徳を讃えるとともに、有縁の方々とも教えを聞き、安心をいただくことが、法事の大切な意味です。大切な亡き方をご縁にお勤めいただきたいと思えます。

では、この法事、いつ・どこで・どのようにお勤めしたらよいのでしょうか？

法事はいつお勤めする？

まず、亡くなって一年後に勤める法事が一周忌です。そして、二年後は三回忌、六年後は七回忌…と次のように勤めます。

・一周忌………	亡くなって一年後
・三回忌………	二年後
・七回忌………	六年後
・十三回忌……	十二年後
・十七回忌……	十六年後
・二十三回忌……	二十二年後
・二十七回忌……	二十六年後
・三十三回忌……	三十二年後
・五十回忌……	四十九年後

法事の日取りについては、出来る限り祥月命日(亡くなった月日が同じ日)に近い日にします。

また、土曜・日曜は法事の予定が多く入っているの、あらかじめお寺の都合を聞いてから日取りを決定するようお願いします。

法事はどこでお勤めする？

法事をお勤めする会場は自宅や斎場、ホテルなどさまざまですが、お寺の一室も法事の会場としてご利用いただけます。お寺では、大広間(十五名)、小広間(十四名)、和室(九名)と人数に応じてさまざまな部屋があります。ぜひ候補の一つとしてご検討ください。

法事のお飾り

法事の時のお仏壇のお飾りは普段と同様、ローソク立て、香炉(こうろ)、花瓶(かひん)の三具足(みつぐそく)ですが、あれば五具足(ローソク立て一対、花瓶一対、香炉一具)にします。また、お持ちであれば花瓶や香炉を置く前卓に打敷(うちしき)という三角状の布を敷いて、仏前を飾ります。このほか、お仏飯、菓子や果物など供物もお供えします。

令和3年法事該当者

1 周忌	令和2年に亡くなった方
3 回忌	平成31年・令和元年に亡くなった方
7 回忌	平成27年に亡くなった方
1 3 回忌	平成21年に亡くなった方
1 7 回忌	平成17年に亡くなった方
2 3 回忌	平成11年に亡くなった方
2 7 回忌	平成7年に亡くなった方
3 3 回忌	昭和64年・平成元年に亡くなった方
5 0 回忌	昭和47年に亡くなった方

坊守の

ブツブツ言うなら
ナモアミダブツ!

みなさま、明けましておめでとございます。そして、お久しぶりです。年に二度復活するこのコーナーを心待ちにしてください。聞いています。いつもありがとうございます。

さて、去年の話になりますが、先月の九日は娘の結衣の三回目の誕生日でした。一丁前に「誕生日プレゼントはアンパンマンのおもちゃがいいなあ。」「ゲーキはアリエルがいいなあ。」と、リクエストしてきました。当日は、おニューのドレスを着て最高の一日を過ごしました。たくさんの方々に祝っていただけ、本当に幸せな娘です。私たち夫婦も親になって三歳。まだまだ戸惑うことばかりですが、娘とのかけがえのない時間を大切に、これからも成長していけたらと思っています。

そして、去年と大きく違うのが、クリスマスです。去年はクリスマスに対する認識は弱く、枕元に置いてあったおもちゃにただ喜んでいただけでしたが、今年は「クリスマスツリーを買いたい！」に始まり、「いい子にしてたらサンタさんがプレゼント持ってきて



奮発したパースデーケーキ

くれるんだって。結衣ちゃんはお利口さんだから、絶対来てくれるよね。」とバツリクリスマスの意味を理解してました。親は娘が欲しがるプレゼントを抽象的な情報から導き出すのが大変で、「そもそもお寺にサンタクロースは来ないでしょうが!」と喉まで出なかった言葉を飲み込んだのでした。

今年の三月で娘は現在通っている保育園を卒園します。(と言っても、次に入園する保育園はまだ決まってい

ないので。涙)娘は意外と母性本能が強いようで、0歳児の面倒をよく見ているそうです。家では見せたことのない姿や表情を引き出し、それを親に伝えてくれた保育園の先生方には感謝してもきれません。一生オムツを履いているんじゃないか…と不安になった



パズルも一人で完成させられます

トイレトレーニングも、保育園のおかげで終了することができました。子どもも大好きな保育園を卒園するのは寂しいのですが、この別れも娘に必要なものだと信じて、新たな集団生活も娘にとって最高の環境になるよう関わっていきたいと思います。

新型コロナウイルスのせいで皆さんとお会いする機会が減ったのはもちろん、旅行や外食、家族で遊びに出かけることすらままならない毎日に心が荒んでしまいましたが、「止まない雨はない」「明けない夜はない」を信じて、もう少し頑張りたいと思います。

夏頃にはまた、皆さんに素敵な報告ができればと思っています。その時また、お目にかかりましょう!最後までお読みいただきありがとうございます!

法事までの流れ

- ①まず、お寺へご希望の日時と場所をご連絡ください。
 - ②日時と場所が決まりましたら、ご家族やご親族などにお知らせください。
 - ③近くなりましたら、お寺から日時や場所の確認のご連絡をいたします。
 - ④当日、お寺で行う場合は、十五分前くらいまでにお越しください。
- また、ご自宅や斎場、ホテルなどで行う場合は時間までに参ります。

※法事について不明な点がございましたら、お寺にお気軽にお問い合わせください。(☎716・7917)

「おてらおやつクラブ」の活動にご協力いただき、ありがとうございます!

「おてらおやつクラブ」は、お寺にお供えされるさまざまな「おそなえ」を、仏さまからの「おさがり」として頂戴し、子どもをサポートする支援団体の協力の下、経済的に困難な状況にあるご家庭へ「おすそわけ」する活動です。

覚王寺も二〇一六年から活動に参加し、毎月、納骨堂にお供えされた菓子などのおそなえを子ども食堂やひとり親家庭を支援する団体へおすそわけしています。なかには子どもが喜びそうな菓子を納骨堂にお供えしてくれる方や、米や野菜などをわざわざお寺に届けてくれる方もいらつしやいます。皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。

今後このような活動を通して子どもの貧困などの社会問題に積極的に取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

